

第3章

ラバースタンプQSO の魅力とその先へ



ラバースタンプQSOの実例を紹介し、その魅力を探ります。ラバースタンプQSOは同じ内容の繰り返しのため、CWをステップアップするための一過程と思われるがちです。しかし、その型の奥に深い魅力が^{ひそ}潜んでいます。本章では、誰でも簡単に始められるラバースタンプQSOの奥深さを追ってみます。さらに、そのうえのステップであるラグチューへつないでいくノウハウを紹介します。従来、これらを個別に解説した例はありましたが、隙間を埋める部分のランクアップのプロセスを解いた例は少ないと思います。ぜひお役立てください。

3-1 ラバースタンプQSOのメリット

簡単に始められ実用的

実際のアマチュアバンドをワッチして、実践交信の感触がつかめたら、次は前述のように、欧文のラバースタンプQSOが良い練習台ですから、気軽にチャレンジしてみましょう。ラバースタンプQSOのメリットは次のようなものがあります。

- 受信では、あらかじめ相手が打つ内容を予想できる。そのため、ラバースタンプQSOのある一部分のワードを聞けば、その次のワードは自動的に想定できる。あたかも百人一種の上の句と下の句のようなもの。
- 送信内容が決まっているのでパターンを体で覚えられる。条件反射的に早く正確に送信できる。

パソコンのファンクションキーに割り当てて、自動送信も可能。

ラバースタンプQSOの練習を重ねることで、自分があらかじめ準備した、まとまったパッケージ文を定型技として反射的に繰り返す訓練を体に覚えこませます。これが身に付けば、相手の出方によって、あらかじめ習得したパッケージを反射的に繰り返せます。頭だけでなく、体がマスターしていますので、ミスなく、高速で送信できます。

受信時もパッケージの出だしだけ聞けば、その全体がわかります。いくつかの「型」を体が習得すれば、後は条件反射なのです。初めのうちは、実用速度のQSOで1文字ごとに考えながら対応している時間はないので、これがとても有効なのです。

安心してQSOできる

もう一つは、このようにパッケージ化された文面で先が読める大きな安心感があります。「わかりきった内容を繰り返すのはつまらないのでは？」



水戸黄門、遠山の金さんなど定番時代劇はストーリーのわかっているCWのラバースタンプQSOと同じ。安心して楽しんでおもしろい

とお感じになるかもしれません。しかし、テレビの時代劇の長寿番組で8時45分になると「この印籠が目に入らぬか、ここにおわすお方を…」とか、「てめえらの悪事はなあ金さんのこの桜吹雪がお見通しだぜえ…」が始まるのを毎回楽しみにするのと同じです。誰もがストーリーを熟知している古典落語も同じですね。ストーリー展開がわかっていると安心してQSOでき、余裕が出てくると、そ

表3-1 ラバースタンプQSO文例(最短最小限)。() カッコ内は省略することも多い

[JE1SPY]	CQ CQ (DE) JE1SPY JE1SPY JE1SPY (AR) (K)
[JP1NWZ]	(DE) JP1NWZ JP1NWZ (AR) (K)
[JE1SPY]	JP1NWZ (DE) JE1SPY TNX FER UR CALL UR 599 599 QTH TOKYO TOKYO NAME AKI AKI JP1NWZ (DE) JE1SPY KN
[JP1NWZ]	JE1SPY (DE) JP1NWZ OK AKI (SAN) TNX FER REPT UR RST 599 5NN IN YOKOHAMA YOKOHAMA OP YOH YOH JE1SPY (DE) JP1NWZ KN
[JE1SPY]	JP1NWZ (DE) JE1SPY OK DR YOH MY RIG K2 K2 ES ANT EH ANT EH ANT 15MH WX FINE TEMP 20C QSL JARL DR YOH JP1NWZ (DE) JE1SPY KN
[JP1NWZ]	JE1SPY (DE) JP1NWZ OK AKI NW USING IC7800 IC7800 ES DP DP 20MH WX FINE 23C QSL BURO OK AKI JE1SPY (DE) JP1NWZ KN
[JE1SPY]	JP1NWZ (DE) JE1SPY OK DR YOH TNX FER FB QSO CU AGN 73 DR YOH JP1NWZ (DE) JE1SPY VA
[JP1NWZ]	JE1SPY (DE) JP1NWZ OK AKI TNX FER FB QSO GB 73 TU VA

※AR…I am ready (送信終了), K…どうぞ, KN…ブレイクしないでくださいの「どうぞ」

のストーリーの中で、キーイングの味とか、絶妙な間の取り方など、CWの違いがわかってきます。ラバースタンプQSOは決して無味乾燥^{むみかんそう}で単調なも

のではないことも、ぜひ探求されてみてください。

参考までにラバースタンプQSOの文例を表3-1に示します。

3-2 QSLカードとアワード収集

ラバースタンプQSOの最大の魅力は、QSLカードを収集し、DXCCを頂点とするアワードハントの伝統的な世界共通の基本型であることです。ですから相手が国内、国外を意識することなく、同じ方法で簡単にQSOでき、QSLカードやアワードといった形ある成果物を手にできます。

アワード・ハント基本型

前章でお話したとおり、現在、日本国内の欧文CW QSOは、このアワード用のQSLカードをサービスしたり集めたりする目的が最多です。

極言すると、この方法さえ実行していれば、和文や欧文ラグチュー、HSTとは無関係でも、CWでDXCCのオーナーロール(名誉会員)にもなれるのです。それほど、有益な方法です。速度も150字/分でもできれば十分すぎます。

以下がその典型的な例です。

```
【サービス局】 CQ CQ DE JE1SPY/1 JCC1002 K
【呼ぶ側】      DE JP1NWZ (BK)
【サービス局】 JP1NWZ 599 (BK)
【呼ぶ側】      R 599 TU
【サービス局】 TU JE1SPY/1 JCC1002 (BK)
                別の局が同様に呼ぶ。
```

これが最低限のやり取りです。()カッコの部分はあえて送信しなくても、慣習的にスタンバイのタイミングはわかるので、省略する場合があります。たったこれだけのやり取りですから、自分のコー

ルサインと数字を覚えれば、すぐに運用できます。しかもこのパターンはコンテスト、DXペディションなど、本格的な領域へ踏み込んだ場合でもまったく同様です。

ですから、欧文モールス符号を覚えて、国家試験に合格し、局免許のCWモードの変更手続きが完了したら、すぐにでも7MHz(上級局の場合は10MHzもチャンスが多い)あたりをワッチして、実際にコールしてみましよう。おそらく、どれも相当速いスピード(80~100字/分程度)ですが、何度も同じことを繰り返しているのだから、自分がコールする前によく聞いて、事前に相手のコールサインを確認しておけば良いのです。後は自分のコールサインなら相当早くてもコピーできるはずですから、コールバックはすぐわかります。サービス局は、これ以外の余計なことを打ってきませんから、怖いことは全然ありません。

この一見簡単なやり取りでも実に奥が深いのです。この間で、その蔭でどのくらいの数の局がワッチしているか?などを、相手局とその場全体の状況から読み取れるようになると、レポート交換だけのラバースタンプQSOの楽しさがわかっていきます(流行語で言えば「空気読めてる」でしょうか、hi)。

上記のやりとりは、かなりのベテランが効率良くQSOしているパターンです。

パイルアップで呼び合う型

それでは、もう少し違う状況を想定して例題を考えてみましょう。